



イラスト授業を見学

松山南砥部分校 存続決定(令和9年度まで猶予) 関連予算を可決

議会・町の取組

昨年7月、県立高校再編案で伊予高への統合が示された松山南校砥部分校。同月統合に反対する「砥部分校存続の会」が立ち上がった。8月には会から砥部分校存続を県に働きかけることを求める請願が町議会議長に提出された。町議会では9月議会の総務産業建設委員会の採決の前に分校を視察した後、賛成多数で採択し、本会議においては知事と県教育長に存続を求める意見書提出を全会一致で採択した。これに対し、存続の会の中川礼代表からは「全会一致で採択された時は、私たちに勇気と希望を与えて頂いた奇跡的な瞬間でした。」とコメントしている。

砥部町長から提案されたふるさと納税を活用する取組などが評価され、本年3月13日存続が決定し、令和5年度当初予算案に生徒確保に向けた学校説明会開催費や全国募集する際の広報費である「地域みらい留学」への参画費用など108万円、サテライトオフィス開設支援金250万円が計上され、3月議会において、可決成立した。

県教育委員会の決定事項

令和7年度からプログラミングやブランディングなどを学べる「ゲームクリエイションコース」を新設。1学年40人の定員を80人に増やし、全国から生徒を募集する。

存続の会の提案事項

専門技術指導が見込める広告デザイン企業のサテライトオフィス開設。
地域住民による親元を離れて暮らす生徒への生活見守り支援策。



分校長による現況報告



合格発表

※愛媛県立学校振興計画で昨年7月に公表されていた松山南校砥部分校の伊予高への統合は令和9年度まで猶予し、今後5年間は存続案の進捗状況と成果を見守りつつ、もし、存続案が実現できない場合や志願者数の増加が見込まれないときは、令和10年度からの県の後期計画において、伊予高との統合を改めて検討する。